

昭和五十六年四月二十五日提出
質問 第三四号

五万円札の発行に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和五十六年四月二十五日

提出者 小沢貞孝

衆議院議長 福田 一 殿

五万円札の発行に関する質問主意書

行政改革の一環として五万円札を発行すべきであると思うが、政府見解について次のとおり質問する。

銀行や現金を多額に扱って取引きするところではそれを渴望している。目下政府提案の五百円硬貨発行の法案が審議されているが、発行の理由は、自動販売機が激増し百円硬貨が増加したこと、五百円硬貨販売機で売る品物が増えてきたこと等の理由による。しかし、補助貨幣の中に占める百円硬貨の割合は次表のごとく六三・六％である。

現金通貨の流通高等（その一）

補助貨幣	五一年一月末発行高	構成比	五六年三月末発行高	構成比
一〇〇円	四、二五三 <small>億円</small>	六三・三	五、九五九 <small>億円</small>	六三・六
五〇円	一、〇四一	一五・五	一、四四六	一五・四

しかるに、一万円紙幣は次表のごとく八三・七%であつて、百円硬貨と比較してはるかに高率である。

現金通貨の流通高等（その二）

	日本銀行券	五一年一月末発行高	構成比	五六年三月末発行高	構成比
	一〇、〇〇〇円	八六、三二二 <small>億円</small>	七九・六	一四〇、九二四 <small>億円</small>	八三・七
	五、〇〇〇円	五、二〇三	四・八	七、四八五	四・四
C	一、〇〇〇円	一四、二七三	一三・二	一六、七六一	一〇・〇
B	一、〇〇〇円	一五三	〇・一	一五二	〇・一
C	五〇〇円	一、八〇四	一・七	二、三〇七	一・四

計	六七二七	一〇〇・〇	九、三六五	一〇〇・〇
一円	一五二	二・二	二〇三	二・二
五円	二八〇	四・二	三六四	三・九
一〇円	九九一	一四・八	一、三九三	一四・九

主要国の銀行券券種別発行高構成比

100,000 円	額面 構成比	100 ドル	額面 構成比	10 ポンド	額面 構成比	500 フラン	額面 構成比	1,000 マルク	額面 構成比	100,000 リラ	額面 構成比	1,000 フラン	額面 構成比
八三・四		三四・九		一四・五		三四・八		一三・七		三四・八		一、〇〇〇	四三・二
日本 (一九八〇年末)		アメリカ (一九七八年末)		イギリス (一九八〇年二月末)		フランス (一九七九年末)		西ドイツ (一九七九年末)		イタリア (一九八〇年六月末)		スイス (一九八〇年末)	

さて、アメリカの最高紙幣は百ドル（約二万円）、イギリス五十ポンド（約二万四千元）、フランス五百フラン（約二万一千円）、イタリア十万里ラ（約二万円）の他は西ドイツ千マルク（約九万六千元）、スイス千フラン（約十万六千元）、オランダ千ギルダー（約八万九千元）、スウェーデン一万クローネ（四十五万二千元）、カナダ千ドル（十七万三千元）等々で、二万円から四十五万二千元まで幅が広い。以上各国の状況を考慮して五万円札が適当と思う。

本年四月十八日の日経によれば、「一万円札のシェアが、昨年末に比して〇・三%下がったの

で時に五万円札の発行が、見送られよう。」と報ぜられている。原因は不況による企業の沈滞というが、こういう時こそ発行の好機といえる。ましてや、行革による補助金カットで不況ムードのつる現在こそ発行に踏み切る絶好機ではないだろうか。一万円札のシェアが八五％〜九〇％と上つていく時はインフレ時で、その時発行してはインフレに油を注ぐことになろう。給料等銀行振込みも進みつつあるし、給料支払にわざわざ五万円札を使わなくてもよいし、買物の婦人らも五万円札でということもなからう。従つて次のとおり質問する。

一 民間の事務合理化も政府の行う重要な行革であるから、速やかに五万円札を発行すべきであると思うが、どうか。

二 また、発行準備はすぐ取りかかるべきだと思うが、どうか。

三 一、二ともできないとすれば、そのネックは何か。

右質問する。